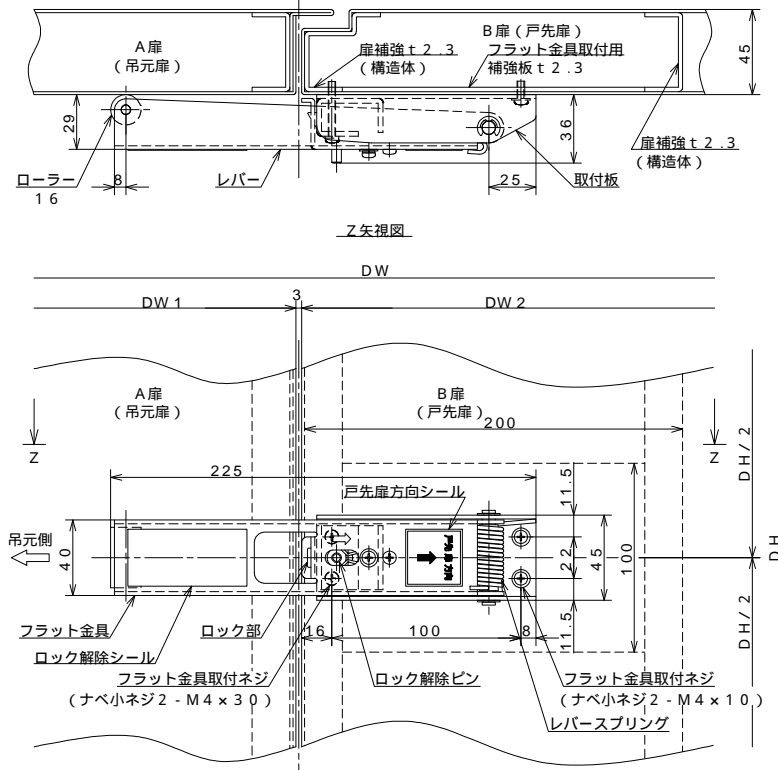
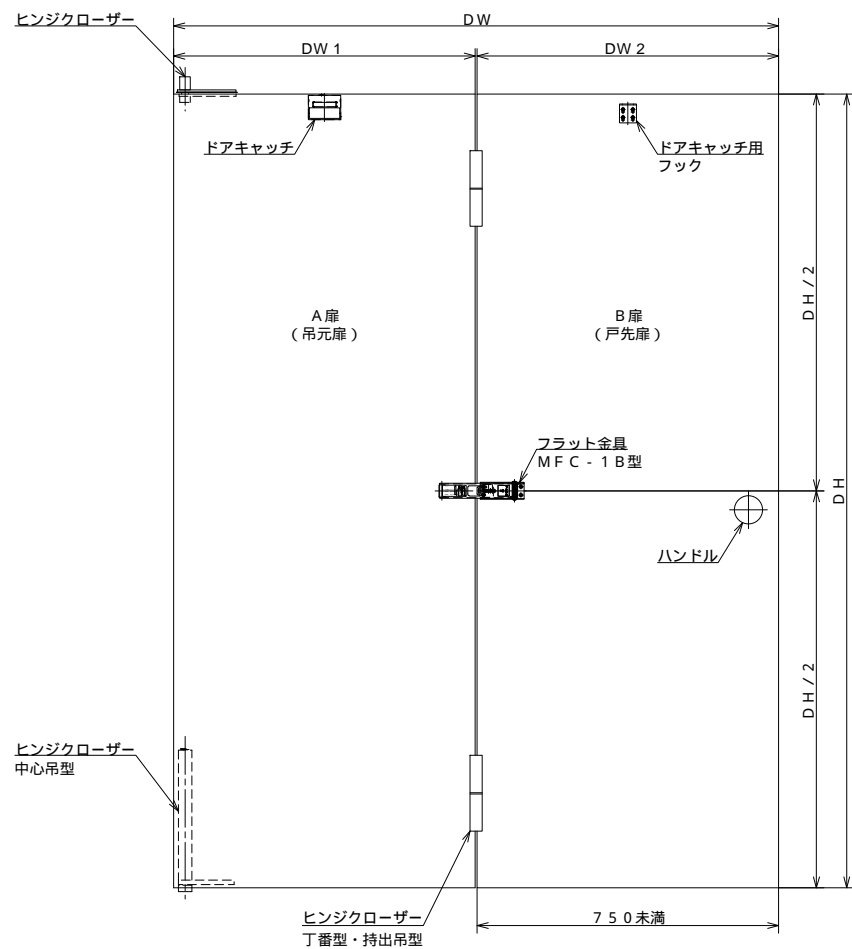


納まり図

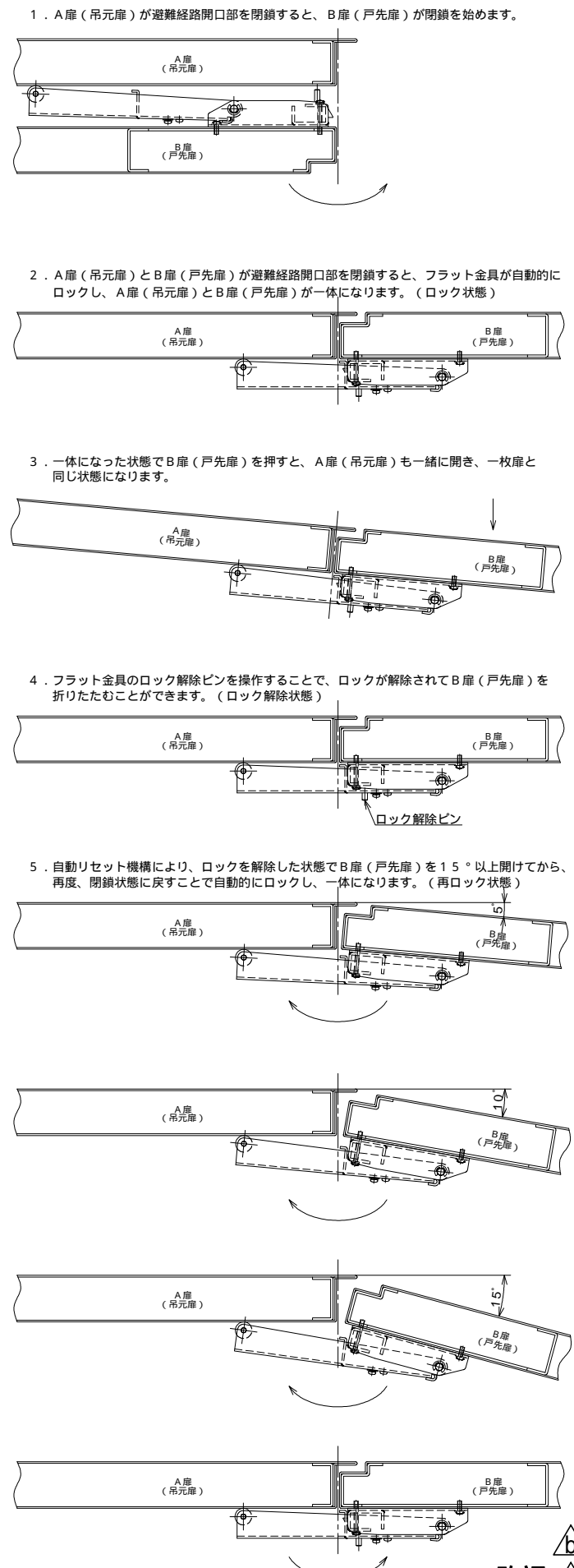


- 1 本図は扉の開き勝手を右開き、扉の召し合わせを3mm、扉厚45mm、扉間40mmを基準として表示します。
- 2 本図は扉が避難経路開口部を閉鎖した状態を表示します。

フラット金具取付概要図



作動説明図



注意事項

1. ドアキャッチ (N-51C・C P型) を併用した際は、下記の注意事項に従って戸当り上枠に取り付けた固定金具と扉に取り付けたドアキャッチの固定トリガーとが、保持しないように必ず調整を行ってください。

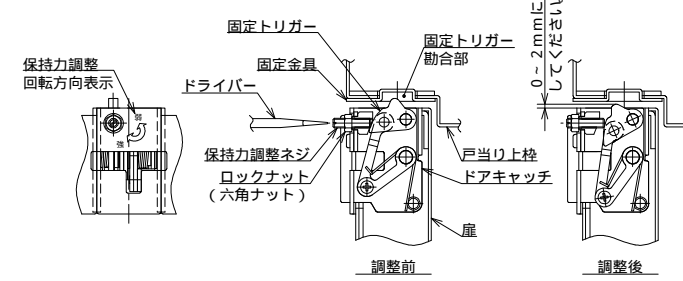
ドアキャッチとフラット金具併用時の注意事項

- (1) ロックナットを緩めて、固定トリガーがドアキャッチの上面より0~2mmとなるまで、マイナスドライバーで保持力調整ネジを左(回転方向表示"弱"方向)に回してください。
- (2) 調整後は必ずロックナットを締め付けて、保持力調整ネジを確実に固定してください。
- (3) 調整ネジを固定した後は、扉を避難方向に押し必ずA扉(吊元扉)とB扉(戸先扉)が一体となって開閉できることを確認してください。

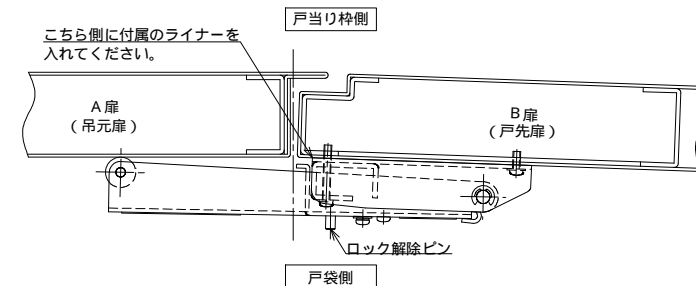
【重要】

ドアキャッチの保持力を調整せず、フラット金具をご使用された場合には、扉の開閉動作の支障や機器の故障の原因となるばかりか、防火戸閉鎖後扉が開かず避難経路が確保できなくなり、人身に対して重大な事故に至る恐れがありますので、必ず調整を行ってください。

ドアキャッチの固定トリガー動合部のない固定金具F(特注品)を使用した場合には、上記(1)~(3)の調整作業は不要になります。弊社にてオプションとして用意しておりますので、別途ご用命ください。



ライナー取付方法



1. 扉が避難経路開口部を閉鎖した際、B扉(戸先扉)が戸当り枠側の気密材(別途)等に当たって、A扉(吊元扉)とB扉(戸先扉)が同一面にならず、フラット金具がロックしない場合に付属のライナーを取り付けてください。ライナーを取り付けることでロックがしやすくなります。

『1 ライナー取付方法』

- 1) 付属のライナーをB扉(戸先扉)とフラット金具取付板(ロック解除ピン側の取付穴)の間に入れてください。
- 2) ライナーを取り付けた後、数回扉を開閉させてロックすることを確認してください。

適用扉サイズ

総扉幅 DW (mm)	1500以下
扉高さ DH (mm)	2100以下
総扉質量 (kg)	160以下

【注意1】 B扉(戸先扉)の扉幅が750mm未満、扉高さ1800mm以上の時にご使用ください。(但し、扉の総面積が3m以下にてご使用ください。)

【注意2】 A扉(吊元扉)の扉幅は300mm以上でご使用ください。

MFC-1B型フラット金具 取付要領図 1

尺度	N・T・S	承認	田村	検図	三枝	設計	市川
			2004.10.21		2004.10.21		2004.10.21

ニッケイ株式会社 図番 AF-31535-△

改訂 a N-51B・51BP型 文字削除 2005.09.16 仔加
b 施工上の注意を取付要領図2に移動 2012.04.16 仔加